

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	児童デイサービス レラ		
○保護者評価実施期間	令和 8 年 3 月 16 日		～ 令和 8 年 4 月 20 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19世帯25名	(回答者数) 10世帯14名
○従業者評価実施期間	令和 8 年 3 月 16 日		～ 令和 8 年 4 月 20 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 6 月 1 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンションを二室活用し、活動スペースの確保や状況に応じた使い分けが可能です。	多機能型を生かし、幅広い年代の児童さんと関わることができます。未就学児童との関わりから、思いやりや気遣いを育てています。	行事やイベント等で、年に数回大きな施設を借りて特別な企画を行いたいと考えています。
2	休校日や祝日には事業所内でスタッフが調理した給食を提供しています。職員、児童全員で食べることで「食」への興味や楽しさを育み、食育の促進に繋がっています。	アレルギーを持つ児童は、お母様からの情報や医師からの診断結果を共有いただき、安全対策を行っています。	物価の高騰がありますが、メニューを工夫し、給食費の値上げはせず営業を続けて参ります。
3	自宅の感覚に近く、安心して通所できる環境が提供できます。	部屋の改装は行わず、畳やフロア等、児童が居心地の良い場所を見つけることができます。段差等をあえて残すことにより、日常生活動作の向上に繋がっています。	柱やドアノブ、棚の角等にクッションを挟み、より一層安全な空間になるよう日々検討していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	荒天の場合は戸外活動に出発できず、児童の動きが制限されてしまう場面があります。	ホールやプレイルームといった室内でも存分に体を動かせる設備がない。	公共施設を利用し、活動の幅を広げて参ります。またスペースが限られた状況を、着席活動等の「静」の活動や、周囲への気遣いを学ぶ場に繋がっていきたいと考えています。
2	個別対応できる部屋がない。宿題等を行う際に集中しやすい環境、児童と個別に話し合える環境、興奮時に落ち着ける環境等が確保しづらい。	活動スペース確保のため、室内のほとんどを遊戯場として活用している。事務室や備品庫の整理が不十分。	必要に応じて、事務室や備品庫を静かな空間として活用できるよう、室内、庫内の整備を行います。また楽しく遊ぶ場面と静かに過ごす場面のメリハリある行動の支援に繋がっています。
3	職員全員で会議を行う場面や反省会を行う機会を確保しづらい。	療育や児童の送迎と重なり、職員全員の時間を合わせることが難しい。会議時はクラスやグループ分け等を行い、全職員の意見、考えが反映されるよう工夫している。	職員間の連携を高めることや朝礼時間を活用し、全職員に周知が行き届くよう工夫して参ります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名	児童デイサービス レラ
------	-------------

公表日 令和8年6月1日

利用児童数 19世帯25名

回収数 10世帯14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13			1	バリアフリーではないが、使いやすい作りになっていると思います。ふすま等の仕切り排除し、動線の確保や見渡しの良い環境に設定しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13			1	訪問機会があまりないので分かりません。一日の終わりに掃除、消毒を徹底しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14				屋内、屋外活動で工夫がされていると思います。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1		9	レラ以外の児童さんとの交流の話はあまり聞いたことがないと思います。公園や公共施設利用の機会を活用し、他の児童さんとの交流や基本的なルール・マナーを育てています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされていますか。	12	1		1	説明があった気はするがあまり記憶にない。定期的な評価、計画を行っています。支援計画作成時には内容を説明し、保護者様から署名を頂戴しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5		5	4	あまり分からない。自分はそのような経験はないと思う。ご家庭の相談に応じて家族支援を行っております。「札幌市ペアレントメンター」も活用しておりますので、要望がございましたら、お気軽にお問合せください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	14				都度、報告や相談のやり取りができています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1	1	面談をした覚えはないので、あまり分からない。送迎に日常的に情報交換を行っております。要望に応じて面談機会も取り入れておりますので、お気軽にお問合せください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	6	5	保護者同士の交流の場はないと思うが、あまり必要性は感じていない。父母の会はございませんが、ご要望や必要性に応じて検討して参ります。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1		1	都度、相談に乗ってもらい対応している。	早急に対応できるよう努めています。必要に応じて職員会議を行い、全体周知や支援の統一を図っています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13			1	ホームページをあまり見ていないのでわからない。	自己評価の結果をホームページ掲載しています。行事については都度お手紙を配布してお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			4	利用開始時に説明を聞いた気がするがあまり覚えていない。	各マニュアルを作成し安全対策を行っております。必要に応じてお手紙を配布、都度注意喚起を行って参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10			4		毎年、年に二回（6月頃と12月頃）避難訓練を実施し、豊平消防署へ届出を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			1	安全に活動しているように感じますが、どのような工夫があるのかは分からない。	適宜、周知や研修を行い、安全な活動に繋げています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			1	大きな怪我をしたことがないので、どのような対応をしているか分からない。	万が一に大きな怪我をさせてしまった場合には即保護者様へご連絡いたします。また協力医を設定し、すぐに受診ができるようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14				とても楽しそうです。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14					
	29	事業所の支援に満足していますか。	14					

公表

事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	児童デイサービス レラ		公表日		令和8年6月1日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	1	マンションの部屋を二室用意し、活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		営業日を月～金の週5日間にし、適切な配置人数になるよう工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	ふすま等の仕切り排除し、動線の確保や見渡しの良い環境に設定しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		一日の終わりに掃除、消毒を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	個別や空きスペースは少ないが、必要に応じて、事務所や保管庫を活用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	1	全職員が全ての児童に対して参加しています。また周知が全体に行き渡るように工夫しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	アンケートにご協力いただき、困り事やご家族の意向を確認しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		可能な限り職員間で意見交換できる場を設けていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		第三者による外部評価は実施しておりません。必要に応じて検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		日々の療育と並行し、研修計画を立てています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	1	必要時に行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	支援員が相談し立案を立て、児童発達支援管理責任者の下で、最終作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	確認や見直しを行い、計画に沿った活動に繋がっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	発達検査の共有や日頃の活動の様子をアセスメントの繋がっています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		5領域に沿った作成をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	適宜行っています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	自由活動を軸に活動が固定化しないよう工夫しています。特性及び主体性を尊重しながら活動を計画しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	自由活動を基本とし、適宜集団活動の場を設けることで、社会性を育んでおります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	支援前に打ち合わせを行い、円滑な活動に繋がっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	4		帰宅時の送迎があるため、翌日の朝礼時の振り返り等を徹底し、共有に繋げて参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日、来所児童のその日の様子を記録し、必要時にはすぐに見返せるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一度、または必要時に適宜行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8	1	5領域に沿った計画、支援を行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	1	自由活動を主軸とし、主体性を高めています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		しっかりと選定して参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	協力医療機関が月寒ファミリークリニックから長谷川内科クリニックに変更になりました。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	1	保護者様や関係機関と連携し、都度行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1	連携に至っていない場面が多いです。	必要に応じて連携が取れるよう努めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2		要望や必要に応じて情報提供を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9		札幌市障がい児地域支援マネジメント事業を活用しております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7	公園や公共施設の利用から、他の児童さんとの交流や基本的なルール・マナーを育てています。	必要に応じて、機会の増加を検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	2	豊平区地域部会の研修会には必ず出席しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	送迎時に日常的に情報交換しています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	札幌市ペアレントメンター派遣による家族支援の実績があります。	保護者様への周知を増やし、希望者を募って参ります。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		必要に応じて行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	1	アンケートにご協力いただき、困り事やご家族の意向を確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9		支援計画作成時には内容を説明し、保護者様から署名を頂戴しています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		送迎時に日常的に情報交換しています。ご要望に応じて面談を行う場合と相談内容に応じて、こちらから提案する場合があります。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	父母の会は設置しておりません。	必要に応じて検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	早急に対応できるよう心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9		月1回程度、お便りを発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	集団指導の規定に乗っ取り、十分に留意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	個性に応じた伝達方法を取り入れています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8	地域の方を招待する機会はありませんが、マンション住人の方々の理解もあり、温かく見守っていただいております。	必要に応じて検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		AEDの研修を実施しています。	保護者様も含めての研修実施を検討しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年に二回避難訓練を実施しています。また災害時の備えを備蓄しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		保護者様と確認し合っています。病院受診の結果等を都度聞き取り共有しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	同上。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	適宜、周知や研修を行い、安全な活動に繋がっています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	必要時に行っています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	周知の徹底や職員会議から、全体共有、再発防止に繋がっています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	委員会や職員会議から虐待防止に努めています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	1	これまで身体拘束の事例はありませんが、必要時には保護者様と話し合い、マニュアルに沿った対応を行います。		

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 児童デイサービス レラ

公表日 令和8年6月1日

利用児童数 10世帯12名

回収数 6世帯6名

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5			1	たくさん遊べるスペースがあると思う。	マンションの部屋を二室用意し、活動スペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4			2	訪問機会が少ないのであまり分かりません。	ふすま等の仕切り排除し、動線の確保や見渡しの良い環境に設定しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6				意識してやってくれていると思う。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	1		1	どのような工夫があるか分からない。	自由活動を軸に活動が固定化しないよう工夫しています。その日の天候や児童の様子、体調に合わせて都度、活動を設定しています。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	2	2	レラ以外の児童さんとの交流の話はあまり聞いたことがないと思います。	公園や公共施設利用の機会を活用し、他の児童さんとの交流や基本的なルール・マナーを育てています。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	1			説明があった気はするがあまり記憶にない。	定期的に評価、計画を行っています。支援計画作成時には内容を説明し、保護者様から署名を頂戴しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3	2	あまり分からない。自分はそのような経験はないと思う。	ご家庭の相談に応じて家族支援を行っております。「札幌市ペアレントメンター」も活用しておりますので、要望がございましたら、お気軽にお問合せください。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		1	4	1	保護者同士の交流の場はないと思うが、あまり必要性は感じていない。	父母の会はございませんが、ご要望や必要性に応じて検討して参ります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	1	1	ホームページをあまり見ていないのでわからない。	自己評価の結果をホームページ掲載しています。行事については都度お手紙を配布しお知らせしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		1	利用開始時に説明を聞いた気がするがあまり覚えていない。	各マニュアルを作成し安全対策を行っております。必要に応じてお手紙を配布、都度注意喚起を行って参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1	大きな怪我をしたことがないので、どのような対応をしているか分からない。	万が一に大きな怪我をさせてしまった場合には即保護者様へご連絡いたします。また協力医を設定し、すぐに受診ができるようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				毎回楽しんでいる。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				楽しみに通えている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				L I N E で連絡できるのが良い。	

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名	児童デイサービス レラ		公表日	令和8年6月1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		マンションの部屋を二室用意し、活動スペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	営業日を月～金の週5日間にし、適切な配置人数になるよう工夫しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	ふすま等の仕切り排除し、動線の確保や見渡しの良い環境に設定しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		一日の終わりに掃除、消毒を徹底しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	個別や空きスペースは少ないが、必要に応じて、事務所や保管庫を活用できるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	1	全職員が全ての児童に対して参加しています。また周知が全体に行き渡るように工夫しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		アンケートにご協力いただき、困り事やご家族の意向を確認しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1		可能な限り職員間で意見交換できる場を設けていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	2		第三者による外部評価は実施しておりません。必要に応じて検討して参ります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9		日々の療育と並行し、研修計画を立てています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		ホームページに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1	必要時に行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	1	支援員が相談し立案を立て、児童発達支援管理責任者の下で、最終作成を行っています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	確認や見直しを行い、計画に沿った活動に繋がっています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	発達検査の共有や日頃の活動の様子をアセスメントの繋がっています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		5領域に沿った作成をしています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1	適宜行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	1	自由活動を軸に活動が固定化しないよう工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	適宜集団活動の場を設けて、社会性を育てています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	支援前に打ち合わせを行い、円滑な活動に繋がっています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3		帰宅時の送迎があるため、翌日の朝礼時に振り返り等を行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日、来所児童のその日の様子を記録し、必要時にはすぐに見返せるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一度、または必要時に適宜行っています。	

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		しっかりと選定して参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1	協力医療機関が月寒ファミリークリニックから長谷川内科クリニックに変更になりました。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1	必要に応じて活動見学や会議等を行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	3		学校見学に同行する等、必要に応じた支援を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9		札幌市障がい児地域支援マネジメント事業を活用しております。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		9	公園や公共施設の利用から、他の児童さんとの交流や基本的なルール・マナーを育てています。	必要に応じて、機会の増加を検討して参ります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	1	送迎時に日常的に情報交換しています。	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	4	札幌市ペアレントメンター派遣による家族支援の実績があります。	保護者様への周知を増やし、希望者を募って参ります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		必要時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	2	アンケートにご協力いただき、困り事やご家族の意向を確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		支援計画作成時には内容を説明し、保護者様から署名を頂戴しています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		送迎時に日常的に情報交換しています。ご要望に応じて面談を行う場合と相談内容に応じて、こちらから提案する場合があります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8	父母の会は設置しておりません。	必要に応じて検討して参ります。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	早急に対応できるよう心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	月1回程度、お便りを発行しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	1	集団指導の規定に乗っ取り、十分に留意しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	1	それぞれの個性に応じた伝達方法を取り入れています。	
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	地域の方を招待する機会はありませんが、マンション住人の方々の理解もあり、温かく見守っていただいております。	必要に応じて検討して参ります。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		AEDの研修を実施しています。	保護者様も含めての研修実施を検討しています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		年に二回避難訓練を実施しています。また災害時の備えを備蓄しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		保護者様と確認し合っています。病院受診の結果等を都度聞き取り共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	同上。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	適宜、周知や研修を行い、安全な活動に繋がっています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1	必要時に行っています。	

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	周知の徹底や職員会議から、全体共有、再発防止に繋げています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	1	委員会や職員会議から虐待防止に努めています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1	これまで身体拘束の事例はありませんが、必要時には保護者様と話し合い、マニュアルに沿った対応を行います。	